

寄せられた意見

No. 196

受付日	H18.12.8	年齢	51歳	居住地 市町村名	名寄市
件名					

天塩川流域委員会御中

平成18年12月8日
名寄市 (51歳)

天塩川の整備計画について意見を述べたい。

今年は例年になく水が出た。春には、あまり雨が降っていないのに、川を見たら洪水となっていた。また、10月には台風から変わった低気圧が大雨を降らし、この時は恐ろしいほどの洪水となった。畑地には相当水が入り、幸い収穫後だったので被害はでなかったが、収穫前なら悲惨な状況だったと思われる。我々のところでは、たまたま被害が無かったが、下川町では悲惨な事態になったと聞いている。災害は、いつ起きてもおかしくない。異常気象と言われ、何が原因かわからないが、人々の生活を守るために、早期に川の工事を切望している。

委員会では、委員長の説明するまとめに対して、まだ多くの議論が残っているという発言があったが、本当にそう思っているのだろうか。天塩川の流域に住んでいない、我々の生活のことを殆ど考えない、そんな人の意見としか思えない、被害に遭ってからでは遅い。未然に防いでもらわなければならない。魚や自然環境の大切さは理解できるが、そこに住む人々の生活は、当然それらより優先させて良いだろう。自然豊かであっても被害に遭えばそこに住めない。優先的に治水を考えて、その次に環境のことを論じていただきたい。

カワシンジュガイのことが話題になっていたが、何故大事なもののなか理解できない。ヤマベに寄生して大きくなるもので、ヤマベにとっては有り難くない存在と聞いている。それを、サクラマスと同じように議論することは理解できない。しかも、サンル川に沢山いると発言があったが、天塩川の間違いないと耳を疑った。

委員会も大詰めを迎えたようだが、安心してこの地で暮らせるよう、早期にダムを含む河川の工事を行っていただきたい。